



# 感震センサーユニット

## 各部の名称とはたらき

### ES-PTの例

#### ランプ

- 通常時  
緑色に点灯します。
- 地震波を感知すると  
赤色に点滅します。
- テストボタンを短押しすると  
赤色に点滅します。

#### 外部警報出力端子(速結端子)

#### ブザー

- 地震波を感知すると鳴動します。
- テストボタンを短押し(2秒未満)すると鳴動します。

#### プラグイン端子

#### テストボタン

ボタンを押すことで感震動作機能をテストします。

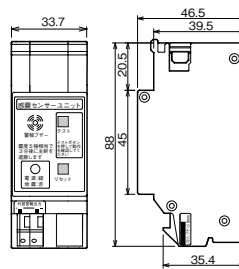
#### リセットボタン

ボタンを押すことで感震動作を解除します。  
ブザーの鳴動とランプの点滅を停止します。

#### 擬似漏電出力線

#### タブ端子

### 外形寸法図(ES-PTの例)



AWG16 1.25m<sup>2</sup> 長さ750mm

(株)ニチフ端子工業  
TMDN 630809-FA

#### 感震動作ランプ

- 地震波を感知すると  
赤色に点滅します。
- テストボタンを短押しすると  
赤色に点滅します。

#### ブザー

- 地震波を感知すると  
鳴動します。
- テストボタンを短押し(2秒未満)すると  
鳴動します。

#### 電源ランプ

- 通常時  
緑色に点灯します。
- 停電時  
消灯します。

#### リセットボタン

ボタンを押すことで感震動作を解除します。  
ブザーの鳴動と感震動作ランプの点滅を停止します。

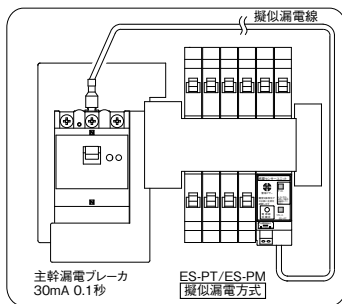
#### テストボタン

ボタンを押すことで感震動作機能をテストします。

## 主幹漏電ブレーカへの接続方法(擬似漏電線)

### ■パールテクト、パールミニへの取り付け(ES-PT/ES-PM)

主幹漏電ブレーカへの電源入力線に手を加えずに取付・接続することが可能です。

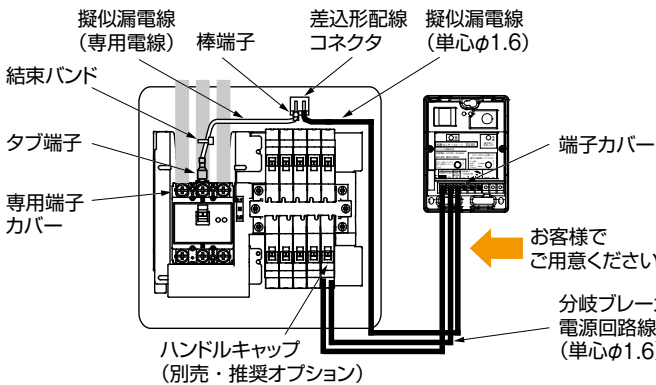


#### ■工事のながれ■

- ① 主幹漏電ブレーカをOFFにする。
- ② ES-PT/ES-PMを取り付ける。
- ③ 擬似漏電線にメルトタブ端子を取り付ける。
- ④ 主幹漏電ブレーカの電源側N極端子ねじを外して、代わりに専用ねじで、③のメルトタブ端子を取り付ける。
- ⑤ GBU-\*\*\*ECの場合は、専用端子カバー(EC用)を取り付ける。

### ■別置きタイプの取り付け(ES-BX)

ES-PT/ES-PMが取り付けできない場合に、分電盤近傍に取り付けて感震機能を実現できます。

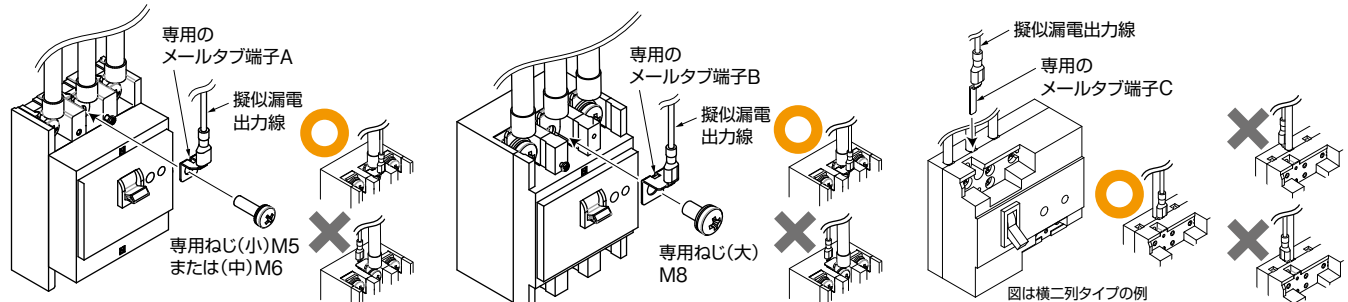


#### ■工事のながれ■

- ① 主幹漏電ブレーカをOFFにする。
- ② ES-BXを分電盤近傍に取り付ける。
- ③ 付属の擬似漏電用の専用線と、本体の擬似漏電出力端子に接続する単心の電線を、付属の差込形コネクタで接続する。
- ④ 擬似漏電線にメルトタブ端子を取り付ける。
- ⑤ 主幹漏電ブレーカの電源側N極端子ねじを外して、代わりに専用ねじで、④のメルトタブ端子を取り付ける。擬似漏電線に分電盤外から余分な力加わらないようN相の電線と結束バンドでまとめる。
- ⑥ 電源用分岐ブレーカからの配線および、擬似漏電線を本体に接続する。本体の端子カバーを取り付ける。
- ⑦ GBU-\*\*\*ECの場合は、専用端子カバー(EC用)を取り付ける。

### ■主幹漏電ブレーカへの接続例

主幹漏電ブレーカの種類に応じたそれぞれ専用のメルトタブ端子と専用ねじを付属していますので、図を参考に付けてください。専用ネジは黄色にしてあり区別できます。



40A・50A・60A  
主幹漏電ブレーカの例  
GBU-53-1HEC  
GBU-63-1HEC

75A・100A  
主幹漏電ブレーカの例  
GBU-73-1HKC  
GBU-103-1HKC

30A  
主幹漏電ブレーカの例  
GBU-3-1HEA